

「保健医療分野 AI 開発加速コンソーシアム」議論の進め方について（案）

1. これまで（第 1 回～第 8 回）の議論

- 厚生労働省では、AI 開発及び利活用促進に向けて幅広い視点から議論を行い、本邦にて取り組むべき事項を検討することを目的に、「保健医療分野 AI 開発加速コンソーシアム」（以下「本コンソーシアム」という。）を平成 30 年 7 月に設置。
- 全 8 回の議論を踏まえ、令和元年 6 月 28 日に報告書「議論の整理と今後の方向性」をとりまとめ。当該報告書では、
 - ・画像診断支援領域における AI 開発を例に、開発段階に応じたロードブロック（障壁）について議論し、ロードブロックに対し迅速に対応すべき事項をとりまとめ
 - ・画像診断支援以外の領域（ゲノム医療、診断・治療支援、介護・認知症、医薬品開発、手術支援）の AI 開発を加速するために必要な取組を記述
 - ・重点 6 領域を中心に、AI の活用が期待される領域の整理を行い、俯瞰図を作成しつつ、今後の方向性として、
 - ・国内外の最新の情報を着実に把握しながら、政府全体の枠組みと連携し、各領域におけるロードブロックの把握、ロードブロックに対するアクションプランの策定を行う必要があるとされている。
- また、政府として、令和元年 6 月 11 日に統合イノベーション戦略推進会議において「AI 戦略 2019」をまとめており、次の 2 点を令和元年度中に作成するとしている。
 - ・ロードブロック解消に向けた工程表
 - ・俯瞰図に基づく AI 開発促進のための工程表

2. 今後の議論の進め方（案）

- 上記を踏まえ、本コンソーシアムにおいて令和元年度中に以下をとりまとめるために議論を進めてはどうか。
 - ・ロードブロック解消に向けた工程表
 - ・俯瞰図に基づく AI 開発促進のための工程表

3. WG の設置について（案）

- 報告書「議論の整理と今後の方向性」では、コンソーシアムの下に例えば WG を設置する等、継続的な情報収集と進捗状況の確認を行う体制を確立しつつ、本コンソーシアムにおいて引き続き検討を行うことが必要であるとされている。

このためこれらの工程表が取りまとめられた後は、フォローアップを行う WG を設置してはどうか。

- また、人材育成等の領域横断的な課題については、専門家や関係者からなる WG を設置し議論してはどうか。

人材育成の例

- 【論点】・保健医療分野の AI の開発・利活用に関与する人材にはどのようなカテゴリがあるか（開発者、利用者、データ提供者、IRB 構成員等）
- ・各カテゴリの人材が理解しているべきことは何か
 - ・各カテゴリに対する人材育成状況・施策はどのようなものか
 - ・推進方策の検討

4. スケジュール（案）

開催日	回	ロードブロック解消に向けた工程表についての議論	俯瞰図に基づく AI 開発促進のための工程表についての議論
11 月 20 日（水）	第 9 回	今後の進め方の確認（資料 1）	
		ロードブロックの確認（資料 2）	—
1 月 31 日（金）	第 10 回	工程表（案）の検討	
3 月 12 日（木）	第 11 回	工程表のとりまとめ	